

## 集団宿泊行事実施に当たっての留意点

### 1 感染症対策に関する基本方針

府中市における集団宿泊行事実施に当たっての感染症対策に関する基本方針は次のとおりとする。

- (1) 団体行動中は、人と人の距離を適切に取り、互いの会話をなるべく控える。
- (2) 消毒設備等の配備状況を事前に確認するとともに、手洗いや手指消毒を定期的・計画的に行う。
- (3) 食事、入浴、就寝の時間以外は、マスクを正しく着用する。  
※ 気候状況等により熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や人と人との距離を確保した上で、マスクを外してもよいものとする。
- (4) 輸送機関、見学・食事・宿泊施設等に消毒及び換気の徹底を行うように依頼する。

### 2 感染症対策に関する具体的な留意点

#### (1) 基本的な感染症対策の徹底

- ① 児童・生徒に旅行中の感染防止対策（感染予防の行動、手洗いや咳エチケット、乗り物乗車中や食事中、大浴場利用中の会話を控える等）の徹底について事前指導を行う。
- ② 同居の家族も含め、児童・生徒の出発前の健康観察を徹底し、発熱・体調不良者は参加できないものとする。また、宿泊行事終了後も健康観察を徹底する。  
※ 実施日から起算して7日以内に児童・生徒が濃厚接触者に特定された場合は、自宅待機期間に当たるため参加できない。  
※ 児童・生徒が陽性者となった場合は、実施日までに自宅待機が解除されれば参加できる。
- ③ 当日の朝、学校等、定められた集合場所において、児童・生徒の体調確認（検温、健康観察）を行い、発熱や感染の疑いのある場合は、保護者へ連絡の上、帰宅させる。
- ④ 宿泊行事中も朝・夕の定期的な検温を行い、体調不良者の発生時に別室対応ができるように宿舎と事前調整する。また、発熱等の場合に利用できる現地医療機関を把握しておき、必要な対応が速やかに取れるようにしておく。
- ⑤ 宿泊行事中は、手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ち（1日最低1枚）として、共用はしないように指導する。
- ⑥ 児童・生徒の食物アレルギーや既往症の事前調査に加えて、新型コロナウイルスによる重症化リスクの可能性も事前に把握するようにする。重症化リスクの高い児童・生徒については、主治医の見解を、保護者を通じて確認の上、保護者との協議により参加の是非を検討する。

#### (2) 宿泊行事中の学習活動

- ① 手洗い、うがい、消毒等の環境整備と定期的な実施、並びに体調確認等に必要な時間的な余裕を確保した行程とする。

- ② 学習活動の設定に当たっては、三つの密（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声）の条件が同時に重ならないように注意するとともに、3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限りそれぞれの密を避け、換気や会話の抑制、人と人との距離の確保等、最大限の注意と配慮を行う。

なお、ハイキング等の活動時にマスクを外す場合、人と人との距離を2メートル程度確保する。

- ③ 集合場所（学校・駅・活動時等）

可能な限り、開放した広い場所を確保し、集合の方法、学級や列の間隔・前後の間隔を広く取り、移動方法や経路について、余裕を持たせた体制・方法をとる。また、学級単位等集団での点呼や指導などは、短時間でを行うようにする。

### (3) 交通機関利用上の対策

- ① 各交通機関の換気性能・完全換気に必要な時間を保護者及び児童・生徒へ事前に説明する。
- ② 交通機関利用時は、マスクを正しく着用し、車内での移動は控え、座席を回転して対面での利用も行わない。
- ③ 座席指定できない鉄道等で移動する場合は、混雑する時間帯を避け、比較的空いている車両又は列車を利用し、可能な限りの利用者同士の間隔を確保する。密接した会話などを避ける。
- ④ 貸切バス及び貸切タクシーについては、車内の換気機能を最大限に作動させ、マスクを着用した上で会話を控える。また、座席の間隔を開けることや、可能な限り乗車人数（タクシー班行動等）を減らすなどの対策を講じる。
- ⑤ 乗車時には、会話を控えるなど、児童・生徒に感染症予防のための行動について指導する。
- ⑥ 乗務員・従業員等に対し、正しいマスクの着用、手洗いや咳エチケットの励行等、感染防止の徹底を依頼・確認する。
- ⑦ 乗務員・従業員に体調不良者が発生した場合は、速やかに代替乗務員・従業員の確保を行うように依頼する。

### (4) 宿泊施設・食事施設利用上の対策

- ① 宿泊施設の感染症対策（空調装置・窓やドア開放による換気、施設・客室・利用者が触れる機会の多い部分等の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、従業員の指導・管理徹底等）を確認し、保護者及び児童・生徒へ事前に説明する。
- ② 食事はバイキングや複数での鍋料理等を避け、一人ずつのセットメニューでの提供を基本とする。
- ③ 館内の設備等を利用するに当たり、可能な限り「密」を避け、感染を排除する工夫を徹底する（場合により、時間差をつけた交代制での食事提供、定員を削減した入浴施設の利用等を検討する。）
- ④ 会食時は、座席の向きや位置などを工夫し、マスクを外して会話をしないようにする。

### (5) 体験学習プログラム等運営上の対策

- ① 体験活動施設等の感染症対策（空調装置・窓やドア開放による換気、施設等の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、従業員の指導・管理徹底等）を確認し、保護者及び児童・生徒へ事前に説明する。

- ② 飯ごう炊さん等、児童・生徒が調理を行う場合は、「府中市立学校 感染症予防の手引き【新型コロナウイルス感染症】（令和4年3月22日時点）」を参考に、感染症対策を行う。調理時には、マスクを正しく着用し、会話を控える。

(6) 参加同意書等の実施

- ① 実施に当たり、なるべく早い時期に宿泊行事中の各受入機関の感染対策や取組を具体的に提示した上で、各学校から保護者に対し、参加について「意向確認」を行う。また、「意向確認」において、参加に当たり不安な点や質問等を記述できるようにする。寄せられた質問については取りまとめ、説明会や文書等により保護者へ回答するようにする。
- ② キャンセル料が発生する前までに、宿泊行事中の各受入機関の感染対策や取組を具体的に提示した上で、参加同意書の提出を求め、参加者を確定する。

(7) 宿泊行事中の持ち物例

マスク（1日最低1枚）	個人の体温計
ハンカチ （1日最低1枚:手洗い後に個人で使用）	ティッシュ
マスクを置く際の清潔なビニール袋や収納のためのケース等	使用済みのマスクやティッシュを捨てるためのビニール袋
班別、グループ行動中の注意事項	健康記録表